

# 麻酔科

## 【スタッフ】

平田 孝夫      裊 愷哲      長畑 佐和子

## 【概要】

人の動きとしては大野医師が平成 29 年 3 月末で退職し、4 月より裊医師が九州大学より当院に赴任しました。平成 27 年 1 月から続く麻酔科マンパワー不足を手術室スタッフと協力し「手術室で働く全ての人が、自信を持って、誇らしく働く環境、そしてお互いを尊重し、助け合いの精神」をモットーに手術室運営を行いました。

手術室の効率的利用のため外来、病棟スタッフの理解と協力で、予定手術の約 80%を 17 時までに入室することができました。

院内教育では 12 月に日本救急医学会主催の、ICLS (Immediate Cardiac Life Support) 講習会を開催しました。人員面では九州大学麻酔科、九州歯科大学からの歯科麻酔研修、加えて非常勤麻酔専門医の応援態勢を確立しました。「患者様一人ひとりに安全で優しい、安心できる麻酔の提供」を心がけるといふ当科の目標のもと個々の症例に対し、麻酔方法、周術期管理について検討しています。

## 【活動内容】 麻酔科管理症例 2017 年 1 月～12 月

全身麻酔（吸入）	703 例
全身麻酔（完全静脈麻酔）	415 例
全身麻酔（吸入）＋神経ブロック・硬膜外麻酔	762 例
全身麻酔（静脈）＋神経ブロック・硬膜外麻酔	37 例
硬膜外＋脊椎麻酔	5 例
脊椎くも膜下麻酔	7 例
計	1,929 例

(前年 1,830 例)

教育・指導面では、スーパーローテート研修の西田、小佐々、徳永、立田医師をそれぞれ 2 ヶ月、川畑医師を 4 ヶ月の研修指導を行いました。また、救急救命士による気管挿管実習（2 名）30 症例を行いました。

【業績集】

<発表>

開催年月日	演題名	演者	共同演者	学会名	場所
2017.6.8	オフポンプ冠動脈バイパス術における術前の呼吸機能と術後の酸素化能の関係	平田孝夫	大野宏幸	日本麻酔科学会 第64回学術集会	神戸
2017.6.9	オフポンプ冠動脈バイパス術中に投与された5%アルブミン製剤が術後の急性腎障害発生に及ぼす影響の検討	平田孝夫	大野宏幸	日本麻酔科学会 第64回学術集会	神戸
2017.9.9	凝固第Ⅷ因子活性低下を伴い止血に難渋した大腿骨骨幹部骨折の1症例	平田孝夫	裊 惺哲	九州麻酔科学会 第55回大会	大分
2017.9.9	全身麻酔術後に嘔吐を機に失神をきたした高度房室ブロックの1例	裊 惺哲	平田孝夫	九州麻酔科学会 第55回大会	大分